

本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

学校の現状や課題

地元企業に支えられて60年

○今年度（平成27年度）創立63年目を迎えた伝統校です。創立以来、一万三千余名の卒業生を輩出し、その約7割が大館・鹿角・北秋地域を中心とした地元企業等で活躍しています。平成28年度に統合するため、現2年生は3年次から、今年度入学生は2年次から統合校へ移ります。発展的な統合に向けて、地元が必要とされ信頼される学校を目指して頑張っています。

高校生ものづくりコンテスト全県トップ

○秋田県高校生ものづくりコンテストでは、平成23年度機械加工旋盤部門、木材加工部門、測量部門の**3部門で優勝**、24年度は機械加工旋盤部門、測量部門が**2連覇**を成し遂げ、**旋盤部門は東北大会で準優勝**に輝きました。平成25年度は機械加工旋盤部門、測量部門が**3連覇**を成し遂げ、**測量部門は東北大会で準優勝**、機械加工旋盤部門は3位でした。平成26年度は電気工事部門優勝、**測量部門は東北大会で優勝、全国大会準優勝**でした。この他、**秋田県高校生ロボット大会は平成22年から24年まで3連覇**を成し遂げ、平成25年も全国大会に出場しています。また、高校生「橋梁模型」作品発表会では2年連続**最優秀賞**を受賞しています。このように、館工は**”ものづくり全県トップの高校”**として、技術の鍛錬に努め、全県の「ものづくり教育」をリードしています。

16年連続！！進路決定率100%

○本校の特色は、就職氷河期と言われる時代も乗り越えて、**進路決定率100%を16年連続で達成**してきていることです。これは、工業の实际的・体験的な学習等を含む授業を柱にして将来の**職業能力**の基礎を学んでいることと、「**創造・誠実・錬磨**」の校訓の下、生徒たちが豊かな人間性を育みながら**文武両道**で活躍できるように、不易と流行を明確にした教育実践を積み重ねてきた結果です。

平成28年度大館統合高等学校へ発展的に統合！

○全県的な少子化の影響は当地域も例外でなく、第六次秋田県高等学校総合整備計画により、平成28年に工業科を設置した大館統合高等学校へ移行することになっています。同校では**電気科1学級、機械科1学級、土木・建築科1学級**を設置しますので、本校で培った「ものづくり」の伝統を統合高校へ引き継いでいきます。

学校を取り巻く将来の状況の予測

○**国際化社会、グローバル経済社会の進展と少子・高齢化社会への移行**により、我が国の産業構造や就業構造は変化し続けており、このような変化にも柔軟に対応して、キャリアアップを図っていくことのできる人材の育成が求められます。

○**社会基盤の整備や社会の発展のため**に、広い視野からどのようなモノをいかにつくるかという視点をもった工業技術者の育成がますます重要になっていきます。特に、**環境、エネルギー、医療、福祉分野など人々の生活を支えるものづくり人材**が求められるようになり、本県及び地域の産業界も製造業等の**ものづくり産業を中核として発展**していくものと予想されます。

目指す方向性や学校像

本校が目指す教育

地域に信頼され必要とされる学校を目指して、ものづくりなどの工業的な学びを中心に据えた人間教育を行い、一人ひとりの社会的・職業的自立を目指し、実社会で活躍できる有為な人材の育成を目指す。

《教育方針》

1. すべて教育活動を通して人間愛や開かれた心を育むとともに、自他の生命を尊重し、心身の健康を確保するための適正な判断力や対処する能力の育成を図ります。
2. 自ら学ぶ意欲と態度を育成し、将来の職業に関する専門知識や技術・技能の獲得を保障する基礎学力の確実な定着を図ります。
3. 自分を取り巻く環境の変化に応じて、基礎学力や専門知識・技術・技能を上手に活用していくための社会人基礎力（前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力）の育成を図ります。

具体的な取り組み等

《教育方法・取組の重点事項》

1. 生徒理解に基づく、生徒の自己実現と援助の充実

- ・生徒の自己決定の場に配慮し、自己実現を支援する。
- ・集団の中で、自己有用感や生徒相互の連帯感を深める態度を育成する。

2. 実践的、体験的な学習指導の充実

・言語活動

（授業を通して質問力・発表力・文章表現等、問いを発する生徒の育成）
（実践的英語力の向上、工業科目での一部英語を用いた授業の実践）

・実験、実習、課題研究

（チームで共同し、自ら学習を進める授業の充実・改善）
（特許庁への実用新案等の出願）

・部活動

（体育系、文化系、ものづくり系など興味・関心に応じた活動の充実）

・資格取得

（国家資格、公的資格、民間資格等へのチャレンジを推奨）

・インターンシップ

（勤労観、職業観の育成、2週間程度の長期インターンシップを含む）

・ボランティア

（社会貢献意識の涵養、専門を生かした技術ボランティアを含む）

3. 連携型教育指導の充実

・社会人講師の活用

（特別授業、技能士等の資格取得、進路指導講話など）

・高等教育機関の活用

(大学教員による講義やものづくり学習における技術指導など)

・ **地域の教育力の活用**

(短期大学校・看護福祉大学・鷹巣技術専門校との教育交流会)

(地元企業との連携によるものづくりコンテスト及び資格取得の指導)

(地元企業の協力による、短期・長期インターンシップの実施)

(東北職業能力大学校秋田校との合同の課題研究発表)

(比内養護学校との交流学习 → 薩摩芋苗植え、薩摩芋収穫後焼き芋機械での試食、本校での測量・機械加工の授業交流)

・ **地域と連携した防災教育**

(第 1 回：大館市防災対策室による地域の防災について)

(第 2 回：秋田大学准教授による大館市周辺の過去の地震被害について)

4 . 社会貢献的な教育指導の充実

・ **地域の行事への参加**

(産業祭での中学校ロボット大会開催、「まなびピア」への参加など)

・ **出前授業**

(小学校への出前授業など)

・ **技術ボランティア**

(高齢者世帯を対象とした「ふれあい安全訪問」や除雪など)

(中学校技術家庭科の授業への助手派遣、木工・配線)

(中学校・小学校助手派遣事業の参加)

(被災地、気仙沼市での小学生向けクリスマスツリーの製作)

・ **環境保護活動**

(巣箱づくり・森林への設置、学校近郊の清掃など)

5 . 防災教育の充実

(教科指導、学級活動、学校行事などすべての教育活動で実施)

6 . キャリア教育の充実

・ **創工人 (そうこうびと) 全体計画 (= キャリア教育全体計画)**

創工人とは、本校の校訓「創造・誠実・錬磨」と関連させ

創造・・・環境の変化に対応できる社会人基礎力を持つ生徒

誠実・・・自他の生命を尊重し敬愛する生徒

錬磨・・・自己を鍛錬する向上心のある生徒

・ **創工人全体目標 (= キャリア教育全体目標)**

望ましい勤労観と職業観を育み、自ら未来を切り開いていく

創工人を育成する

・ **基礎学習 (館工サブリ) の実施**

木曜日 7 校時を設け、学校設定科目として、基礎学力の充実を図るため、習熟度別、進路希望別に全職員で指導に当たる。

5 年間で達成を目指す具体的目標

17年連続進路決定率 100%

- ・ 国公立4年生大学合格者 延べ10名
- ・ 4年制大学合格者 延べ30名
- ・ 公務員合格者 延べ30名

部活動 体育部

- ・ 全国大会出場累積部数 延べ10部
- ・ 東北大会出場累積部数 延べ20部
- ・ 野球部甲子園大会出場 1回

(春の選抜または夏の大会での出場を目指す)

資格取得

- ・ 全生徒が卒業するまで5種目以上取得
- ・ 卒業までに難関資格を二つ以上取得

難関資格(例)

第一種電気工事士合格者 延べ 35人

工事担任者(DD3種) 延べ 25人

国家技能検定二級

機械加工普通旋盤作業 延べ 10人

〃 フライス盤作業 延べ 10人

機械系保全作業 延べ 20人

国家技能検定三級

機械加工普通旋盤作業 延べ 25人

〃 フライス盤作業 延べ 20人

機械系保全作業 延べ100人

機械系検査作業 延べ100人

土木・建築施工管理

技術検定合格者 延べ 30人

部活動 文化部

ものづくりコンテスト

- ・ 各部門県大会優勝 延べ12回
- ・ 各部門東北大会優勝 延べ 6回
- ・ 各部門全国大会上位入賞 延べ 3回

全国高等学校ロボット大会

- ・ 県大会優勝 5回
- ・ 全国大会上位入賞 2回

コンクリートカー全国大会 優勝2回

<特色ある教育活動>

体育祭～伝統のマスゲーム「エッサッサ」

